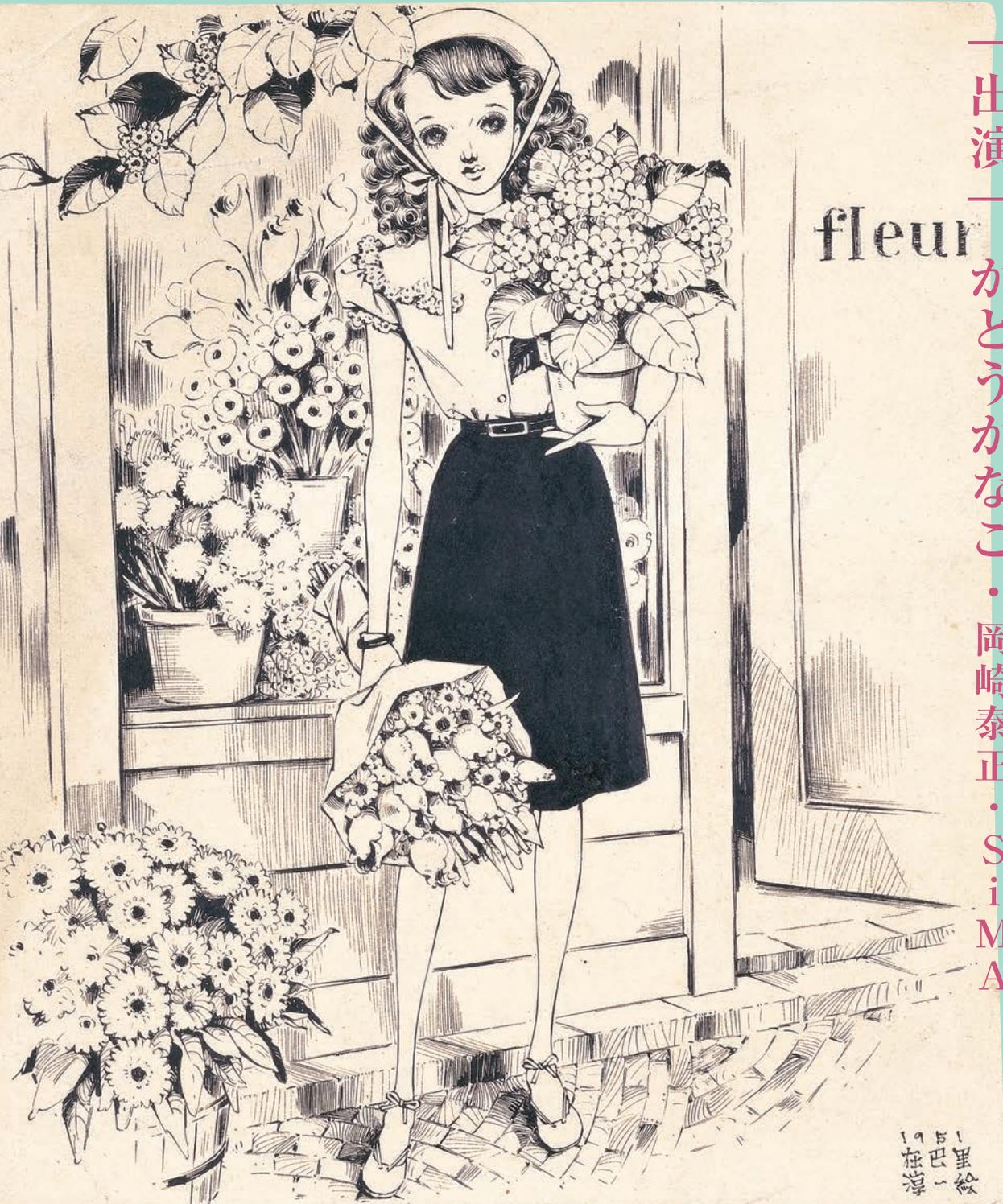


# 美しい暮らし、

MUSEUM X THEATER ミュージア vol.22 企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム



fleur

—出演—

クロマチック・アコーディオン  
かとうかなこ  
ギター  
岡崎泰正  
ヒューマンビートボックス  
S i M A

1951年  
在淳  
里絵

# 明日へのメロデー

## 2024年6月2日 [日]

グラントワ大ホール ステージ上 14:30 開演 (14:00 開場)

パリのお店 夢のような花屋  
〔ひまわり〕第5巻第7号原画 1951年  
©JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

料金

前売 = 1,000 円、当日 = 1,500 円  
(全席自由・定員 50 名)

\*未就学児の入場はご遠慮ください。無料託児サービスあり。  
5月26日までに要申込 (0856-31-1860)  
\*車椅子での鑑賞をご希望の方は、グラントワまでお問合せください。  
\*前売券完売の場合、当日券の販売はございません。

主催：島根県立石見美術館、公益財団法人しまね文化振興財団 (いわみ芸術劇場)

チケット販売

4月6日 (土) 10:00 発売開始

- 島根県芸術文化センター  
「グラントワ」総合案内カウンター  
(益田市有明町 5-15 TEL.0856-31-1871)  
\*電話予約受付は 12:00 ~ (発売日のみ)  
\*9:00 ~ 18:00 第2・第4火曜日休館
- オンラインチケット「シマチケ」

シマチケ

での購入は  
こちらから



美術館と劇場の複合施設「グラントワ」がお届けする、美術と舞台芸術の融合企画「ミュージア」第22弾は、企画展「111年目の中原淳一」の関連企画として、中原淳一が活躍した時代に思いをはせる音楽会を開催します。

今回の企画展をきっかけに、国内外で活躍するアコーディオン奏者かとうかなこが、中原淳一の作品や生き方からインスピレーションを受けたステージを展開します。中原が訪れたパリで流行していたシャンソンや、雑誌『ひまわり』の愛読者のためのイベント『ひまわりの集い』で演奏された曲なども織り交ぜ、未来に向けて「美しい暮らし」を提案しつづけた中原淳一の世界に、音楽でみなさんをいざないます。

クロマチック・アコーディオンの演奏に、ギターの調べとヒューマンビートボックスのリズムが加わる、独創的な構成のステージにご期待ください。当日は約100年前に作られたアコーディオンもステージに登場します。どうぞお楽しみに。

## 出演者プロフィール |

かとうかなこ Kanako Kato 〈クロマチック・アコーディオン〉

4歳からアコーディオンをはじめます。

全日本アコーディオンコンクール総合優勝、高校卒業後フランスに渡り、全仏コンクールでも1位を獲得する。フランス帰国後全国でコンサート活動を中心に、舞台や演劇などの音楽制作を行う。フランスや北欧のダンス音楽など多くのレパートリーを持つが、特にオリジナル曲のファンが多く、CMディレクター、写真家、演出家など多くの制作関係者からの使用依頼が多い。

現在10枚のアルバムをリリース。最新作のオリジナル ソロアルバムは「平行時空」。

自らの感情を委ねるように、蛇腹と呼吸を合わせながら風景の浮かぶ演奏を続けている。



<https://www.katokanako.com/>



Kanako Kato

岡崎 泰正 Yasumasa Okazaki 〈ギター〉

女形の歌舞伎役者で有名な、坂東竹三郎の長男として生まれ、3歳で初舞台を踏む。13歳よりクラシックギターを始める。読売ギターコンクール「高校生の部」、「大学生の部」に続いて入賞し、以来クラシック音楽をバックボーンに民族音楽特有の変則調弦やダンス・ビートに対応できる数少ないプレーヤー。

ラジオ大阪「岡崎泰正の届け生唄 らじおんぱ!」DJとしても活躍中。



Yasumasa Okazaki

SiMA 〈ヒューマンビートボックス〉

京都・嵐山出身 / ヒューマンビートボックス 口や喉から出した音で楽器や機械音、環境音などを再現し、様々な音を組み合わせながら多様な音表現を展開する技術、ヒューマンビートボックスとループステーション(ループエフェクター)を駆使して楽曲制作、ライブパフォーマンスを行う。

また全ての楽曲の作詞、作曲、歌唱も自身で担当しておりシンガーソングライターとしての側面も合わせ持つハイブリッドなヒューマンビートボックスとして独自のスタイルと音楽性を築いている。2022年11月9日には全10曲収録1stフルアルバム「unknown」を自主レーベルUpsweep Recordsよりリリースするなど自身のヒューマンビートボックスを音楽作品として形に残すことに取り組んでいる。

同年には100本以上のライブに出演しており精力的にライブ活動を行なっている。



<https://simabeatbox.net/>



SiMA



扉絵原画「中原淳一ブラウス集」  
1955年 個人蔵  
©JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

お問合せ

【関連展示】 企画展「111年目の中原淳一」 2024年4月20日(土)～6月17日(月)

島根県立石見美術館(島根県芸術文化センター「グラントワ」内)

開館時間 | 9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで) 休館日 | 毎週火曜日

当日券 / 一般 1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円

大学生 600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円

小中高生 300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円

前売券 / 企画・コレクション展セット 900円

\* ( )内は20名以上の団体料金 \* 小中高生の学校利用は入場無料

\* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料

\* 前売券は、ローソン各店(Lコード63978)、グラントワ総合案内カウンターで(開幕前日まで)お求めになれます

島根県芸術文化センター「グラントワ」

<https://www.grandtoit.jp>

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

TEL 0856-31-1860(代表) FAX 0856-31-1884(代表)

E-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

